

2026年6月吉日

虎屋 赤坂ギャラリー 企画展

## 江戸木版画と浮世絵展

2026年6月10日(水)~9月23日(水・祝)

入場無料



鈴木春信「夜の梅」(左)「調布の玉川」(右)長尾版画匠

日本を代表する芸術の一つである浮世絵は、絵師の描いた下絵が彫師、摺師によって完成される木版画です。その技術は現在まで継承されており、2007年には「江戸木版画」として国の伝統的工芸品にも指定されました。

今回の展示では、現代の江戸木版画の彫師・摺師によって制作された、浮世絵の名作をご覧ください。特に鈴木春信の「夜の梅」は、とらやの代表銘菓『夜の梅』と共通する題材であることから、長尾版画匠版を葉などに使用してきた、縁の深い作品です。

また、和菓子を贈答する際に使用する掛紙の見本帳「おさらい集」も展示いたします。

手摺木版ならではの美しい色彩、江戸の粋をお楽しみください。

## 小倉羊羹『夜の梅』

梅はその楚々とした姿かたちの美しさに加え、古くより上品な香りが賞賛され、和歌をはじめとした古典文学の題材として好まれてきました。

とらやを代表する小倉羊羹『夜の梅』も、切り口の小豆を夜の闇に咲く梅に見立てて、つけられた菓銘（菓子の名前）です。

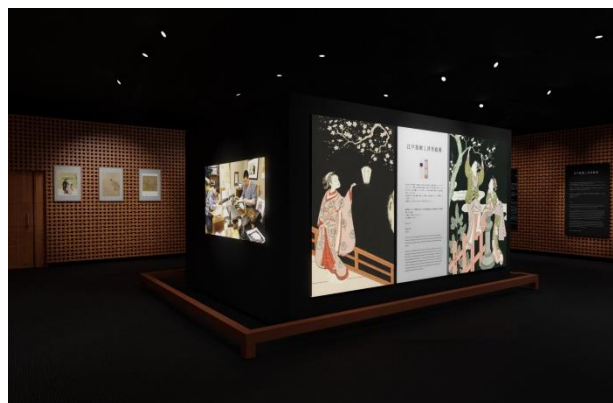
和歌の世界観を思わせるこの菓銘は、古くは元禄7年（1694）の古文書に見ることができ、羊羹の銘としての最初の記録は、200年ほど前の文政2年（1819）にさかのぼります。



## ■展示内容■

### 浮世絵の名品で楽しむ木版画の美しさ

よく知っている浮世絵作品でも、実際に  
摺られた木版画をじっくり鑑賞する機会は  
意外と少ないのではないのでしょうか。  
鈴木春信の名作6点を含め、人物画、花鳥画、  
風景画など計18点を展示。闇の黒、水の青、  
ふんわりした布の白など木版画ならではの表現を  
間近でご覧ください。(写真撮影可)



ギャラリー内イメージ

### かわいらしいデザインの「おさらい集」

かつては菓子を贈答する際にかける掛紙にも、  
木版画が多く使われていました。

「おさらい集」は掛紙の見本帳で、日本舞踊や  
ながうた きよもと  
長唄、清元など伝統芸能のおさらい会(発表会)  
で配る菓子のために、演目にあわせたデザイン  
が100種類以上用意されていました。

今回その一部約30点を展示いたします。  
お気に入りの絵柄を探してみてください。



## ◆協力(順不同・敬称略)◆

台東区／長尾版画匠

## ■基本情報■

タイトル：虎屋 赤坂ギャラリー企画展 「江戸木版画と浮世絵展」

展示期間：2026年6月10日(水)～9月23日(水・祝)

休館日：7月6日(月)、8月6日(木)、9月6日(日) \*赤坂店休業日に準じる

時間：9:30～18:00

場所：虎屋 赤坂ギャラリー

東京都港区赤坂4-9-22 とらや 赤坂店 地下1階

地下鉄赤坂見附駅A出口より徒歩約7分

電話：03-3408-2402 (担当部署／虎屋文庫)

※入場無料

※写真撮影可

取材については

株式会社 虎屋 マーケティング部 広報

Tel:03-3408-4128 / Fax:03-3408-6274 E-mail:pr@toraya-group.co.jp